

平成 24 年度三重県土地開発基金運用状況審査意見書

第 1 審査の概要

平成 24 年度三重県土地開発基金運用状況の審査にあたっては、運用の状況を示す書類及びその他関係諸帳簿により、基金の設置目的の趣旨に沿って、確実かつ効率的に運用されているかどうかについて、慎重に審査を行った。

第 2 運用の状況

決算年度中における基金の運用状況は、前年度に比べて 58 億 6,339 万 200 円減少し、24 億 7,496 万 6,472 円となった。

土地については、平成 24 年 7 月に一般会計で全て (174,169.40 m²) 買戻したため、残高は 0 m²となった。

債権は 2,889 万 2,000 円減少し、6 億 6,830 万 4,000 円となっている。

現金は、土地の売却や貸付金償還、利子収入、地所貸下料収入などにより、18 億 5,228 万 4,928 円増加した一方、一般会計への繰り出しにより 59 億 1,535 万 3,422 円減少し、18 億 666 万 2,472 円となっている。

[基金の運用状況]

区 分		平成23年度末残高		平成24年度中増減額		平成24年度末残高	
		面 積	金 額	面 積	金 額	面 積	金 額
土 地	伊勢志摩であい交流スクエア整備用地	166,419.07	1,625,149,706	166,419.07	1,625,149,706	0.00	-
	災害対策機能強化用地	680.92	77,000,000	680.92	77,000,000	0.00	-
	県庁舎拡張予定地	7,069.41	69,280,000	7,069.41	69,280,000	0.00	-
	計	174,169.40	1,771,429,706	174,169.40	1,771,429,706	0.00	-
現 金 等	現 金	-	5,869,730,966	-	4,063,068,494	-	1,806,662,472
	債 権	-	697,196,000	-	28,892,000	-	668,304,000
	ニューライフファクトリー整備事業	-	600,000,000	-	-	-	600,000,000
	国道1号桑名東部拡幅事業	-	97,196,000	-	28,892,000	-	68,304,000
	計	-	6,566,926,966	-	4,091,960,494	-	2,474,966,472
合 計		174,169.40	8,338,356,672	174,169.40	5,863,390,200	0.00	2,474,966,472

1	平成 24 年度中の土地の増減		
	・伊勢志摩であい交流スクエア整備用地等	174,169.4 m ²	1,771,429,706 円
2	平成 24 年度中の債権の増減		
	・国道 1 号桑名東部拡幅事業償還分		28,892,000 円
3	平成 24 年度中の現金の増減		
	・土地売払収入（基金保有土地の売却）		1,771,429,706 円
	・貸付金の償還（国道 1 号桑名東部拡幅事業）		28,892,000 円
	・貸付金等利子収入		45,112,962 円
	・出納運用利子収入		6,462,361 円
	・地所貸下料		387,899 円
	・一般会計繰出金		5,915,353,422 円

第 3 基金の見直し

平成 23 年度三重県版事業仕分けにおいて、土地開発基金のあり方等を見直した。

その結果、基金の有効活用を図るため、三重県土地開発基金条例の改正を行い、財政上特に必要のあるときは基金の一部を処分できるよう規定を整備し、現金の一部取崩しを行い、土地については、平成 24 年 7 月に一般会計にて買戻しを行った。債権については、平成 27 年度までに回収し、同年度末において基金を廃止することとした。

第 4 審査の結果と意見

基金運用は、基金の設置目的に沿って概ね適正に運用されているものと認められた。

なお、土地開発公社への債権（貸付金）が約定どおり償還されるまで、引き続き、適正管理に努められたい。